

---

# 平成31年度事業計画及び 収支予算の概要

## 医療施設特別会計



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society



# 1. 平成30年度 主な取り組みと今後の課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
安心・安全な医療提供体制の充実	良質で安全な医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の質評価制度の構築検討</li> <li>各種医療安全、感染管理に関する研修の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の質評価制度の充実</li> <li>医療安全対策及び感染管理に関する人材育成の推進</li> </ul>
災害に強い病院(組織体制)づくり	災害医療の拠点としての機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>BCP(事業継続計画)策定の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての赤十字医療施設におけるBCP(事業継続計画)の策定</li> </ul>
地域における医療提供体制の充実	赤十字の特色を生かした医療の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域における医療提供体制の検討(公的医療機関等2025プランの策定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公的医療機関等2025プラン及び地域医療構想を踏まえた診療機能の再評価(診療機能の転換・統合・再編の検討含む)</li> </ul>
グループ経営資源の有効活用	グループ運営体制に基づく経営資源(人・モノ・金・情報)の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員版キャリアアップガイドラインの検討</li> <li>購買支援事業の実施</li> <li>データベース基盤整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員版キャリアアップガイドラインの導入</li> <li>医療材料等共同購入の拡大</li> <li>データベースの活用促進</li> </ul>
医療施設の経営の健全化(平成29～31年度)	平成31年度末における経常収支の黒字化	<ul style="list-style-type: none"> <li>経常収支の改善(平成30年度)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度末における経常収支の黒字化(病院建築等にかかる特殊要因を除く)</li> </ul>

## 2. 平成31年度(※)事業計画(医療事業)

### ※ 赤十字病院グループ中期計画(3カ年)最終年度

#### 事業環境

- ・医療制度改革に基づく医療と介護の再編
- ・超少子高齢化
- ・地域医療構想への対応
- ・診療報酬改定
- ・大規模地震等自然災害発生への対応

#### 基本的な方向性

- 事業本部制による総合力を生かした病院運営
- ・「人・物・資金・情報」などグループにおける豊富な経営資源を相互に活用できる仕組みの構築
  - ・経営支援体制の強化

#### 施策

- (1) 安心・安全な医療提供体制の充実
- (2) 災害に強い病院(組織体制)づくり
- (3) 地域における医療提供体制の充実
- (4) グループ経営資源の有効活用
- (5) 医療施設の経営の健全化

# 3. 各施策について

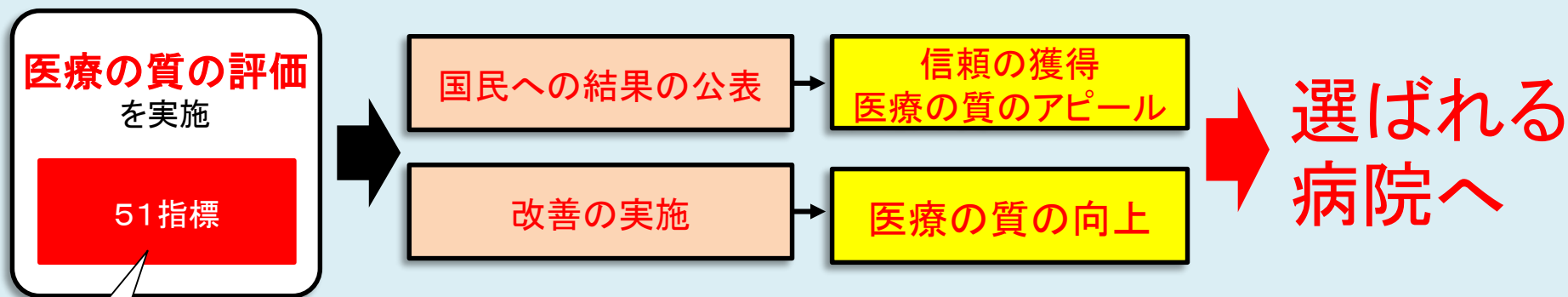
## (1) 安心・安全な医療提供体制の充実

【安心・安全な医療提供体制の充実に関する実施目標(抜粋)】

目標	平成30年度(実績)	平成31年度(計画)
厚生労働省「医療の質の評価・公表事業」への参加施設数	74施設	83施設

### 【医療の質の評価・公表事業の目的(厚生労働省)】

国民の関心の高い特定の医療分野について、医療の質の評価・公表等を実施し、その結果を踏まえた、分析・改善策の検討を行うことで、医療の質の向上及び質の情報の公表を推進することを目的とする。



指標例 「脳梗塞患者への早期リハビリ開始率」



早期の社会復帰を図るために強く勧められている発症後早期からのリハビリテーションの実施状況を評価する。

## (2) 災害に強い病院(組織体制)づくり

【災害に強い病院(組織体制)づくりに関する実施目標(抜粋)】

目標	平成31年度(計画)
全医療施設におけるBCPの策定(施設数)	全92施設

BCP(事業継続計画)の策定

+

- ・病院建物の耐震化
- ・受入対応のための設備及び機能の充実

災害時においても  
診療の継続が可能



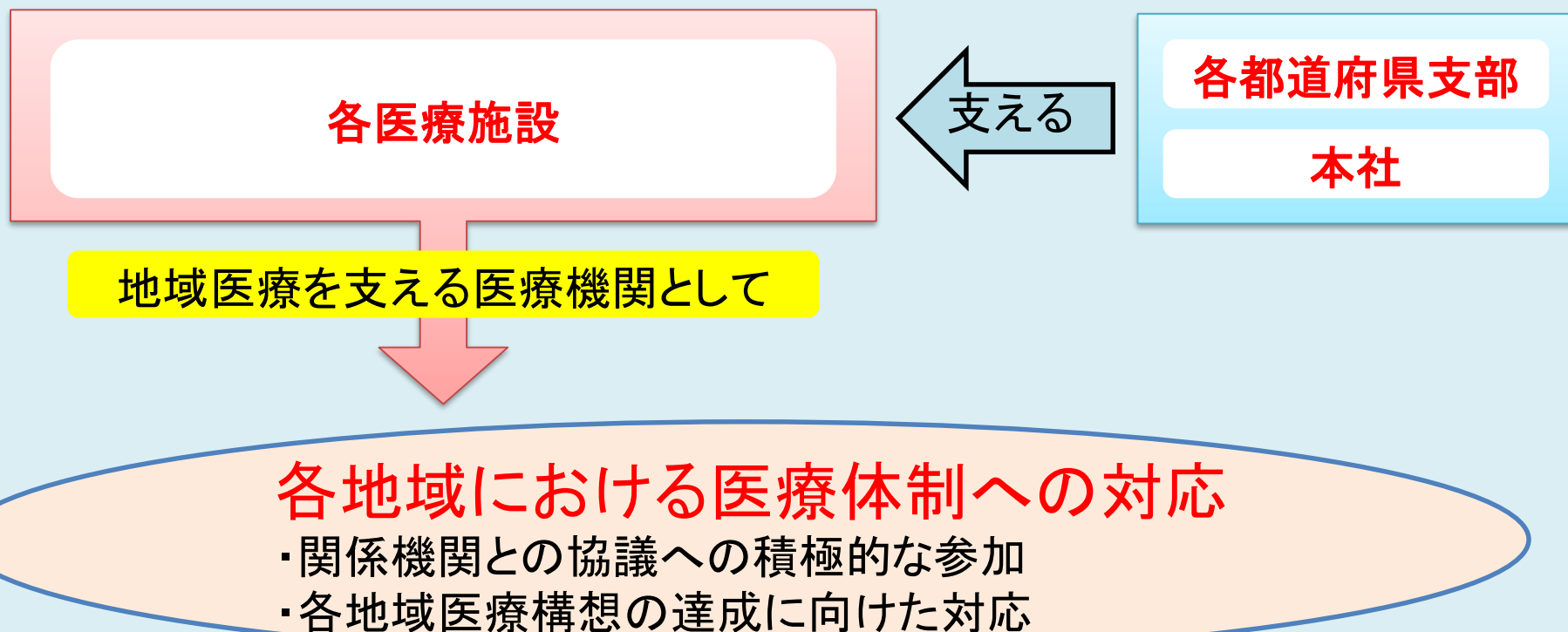
BCPに基づく訓練の様子(京都第一赤十字病院)

※BCP(事業継続計画)とは、災害発生時等の緊急事態において、事業の継続及び早期復旧を可能とするために、緊急時における事業継続のための方法等を取り決めておく計画であり、災害拠点病院では、平成31年3月31日までの策定が義務化されている。

### (3) 地域医療における医療提供体制の充実 [地域医療構想への取り組み]

平成31年度	地域における自院の今後の方向性について示した「公的医療機関等2025プラン」に基づき、地域における役割と機能を明確にし、地域医療構想(※)達成に向けて地域医療に貢献します。
--------	--

※各都道府県が策定する各地域における将来あるべき医療提供体制のこと



# (4) グループ経営資源の有効活用 [本部による各医療機関への購買支援]

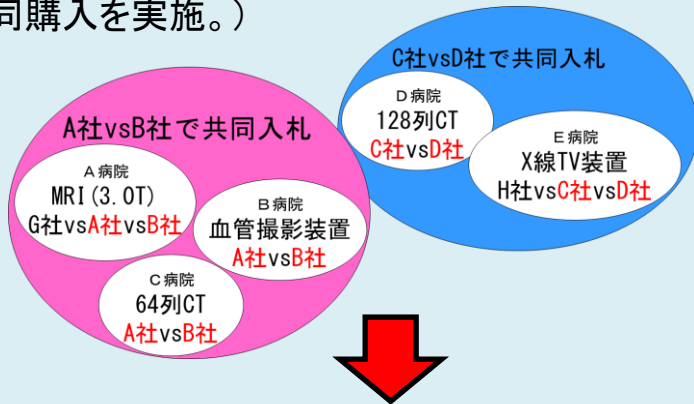
【購買支援の実施目標(抜粋)】

目標	平成31年度(計画)
共同購入品目の新規拡充(年度における品目数)	医薬品3品目 診療材料5品目 医療機器4品目

## 新たな大型医療機器(MRI・CT)の共同購入

平成31年度新規共同購入品目: MRI、CT

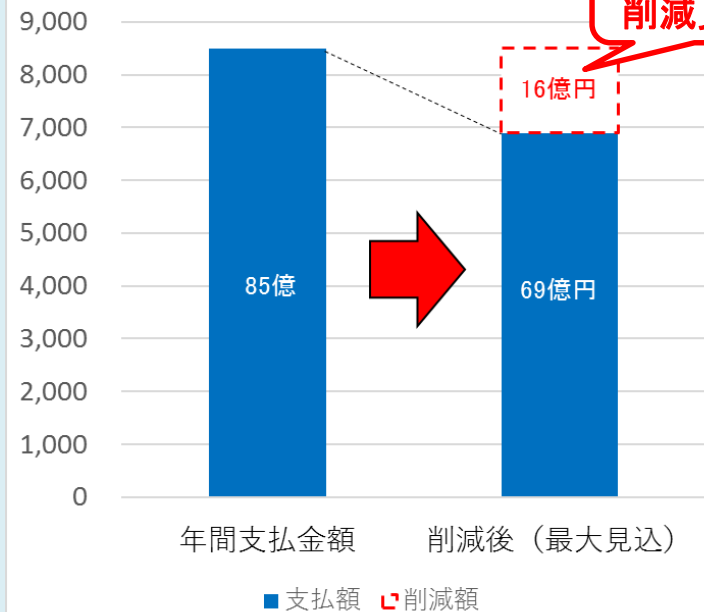
(平成30年度は手術支援ロボット「ダヴィンチ」の共同購入を実施。)



**単独購入より低価での購入(費用の削減)の実現**

## 電力需給契約による費用削減

(百万) 電力料金削減イメージ



## (5) 医療施設の経営の健全化

### 【収支計画の目標】

医療施設特別会計全体において経常収支の黒字化

### 【資金計画の目標】

全ての施設において

- ・業務活動キャッシュ・フローの黒字化
- ・前年度からの改善



経営改善のためのアクションプランの実行



# 経営改善のためのアクションプラン（施設別目標管理の実施）

## [方針]

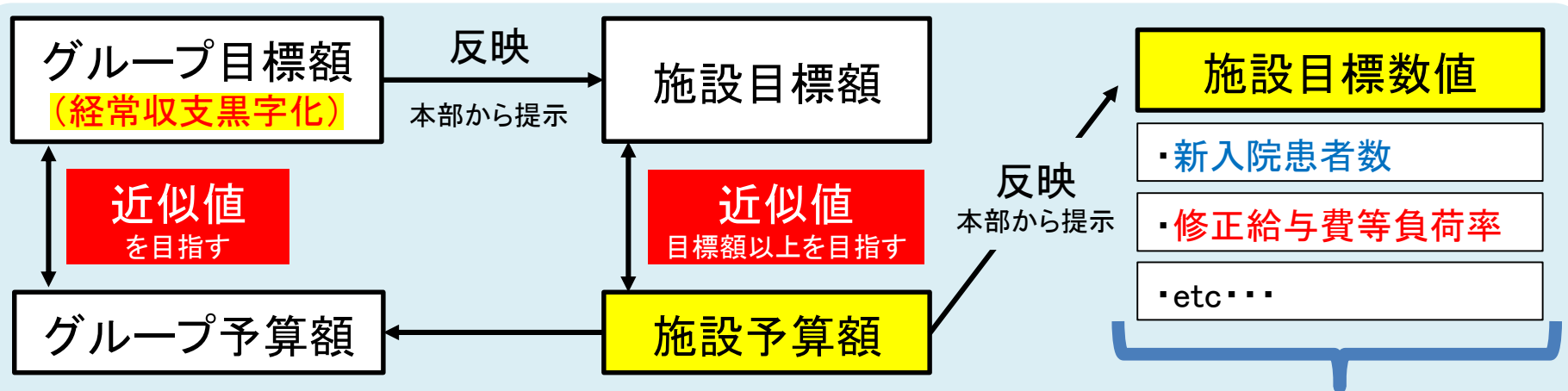
本部において、施設ごとに予算に基づく重要業績評価指標（KPI）を設定し、モニタリングを行い、悪化した施設に対し早急に経営支援を行う。

## [重要業績評価指標（KPI）の設定]

- 収益向上に対する指標：『**新入院患者数**』
- 費用削減に対する指標：『**修正給与費等負荷率**（※）』

（※）修正給与費等負荷率

$$= \frac{(\text{給与費} + \text{委託費})}{(\text{医業収益} - \text{材料費})}$$



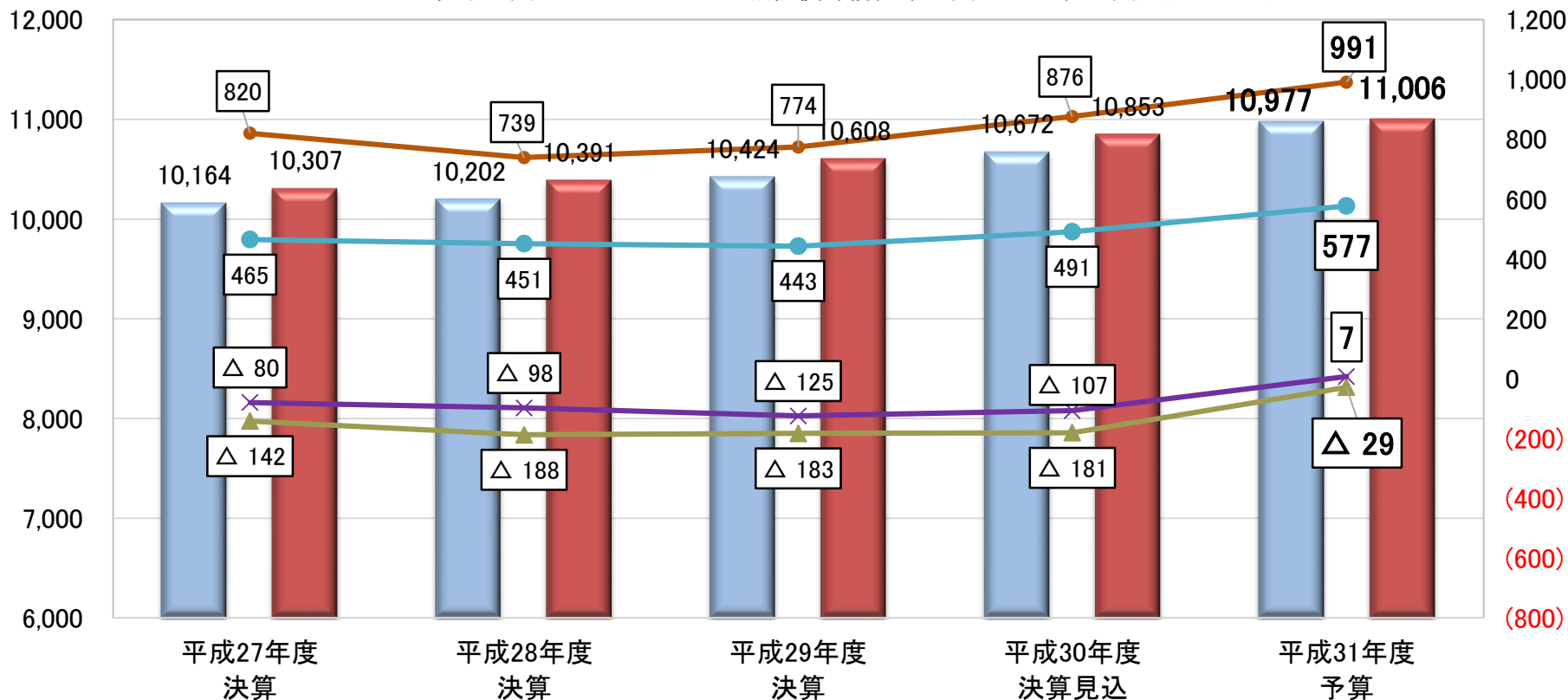
2つの指標を中心に本部が施設の状況を毎月モニタリング

# 4. 経営状況の推移

※ 総収支(キャッシュベース)は、総収支から非資金性項目(施設整備補助金等収益、減価償却費等)を除いた数値であること。

単位: 億円

■ 総収入      ■ 総支出      ▲ 総収支  
✖ 経常収支      ● 減価償却前医業収支      ● 総収支(キャッシュベース)



黒字: 30施設  
赤字: 60施設

黒字: 29施設  
赤字: 61施設

黒字: 30施設  
赤字: 60施設

黒字: 35施設  
赤字: 55施設

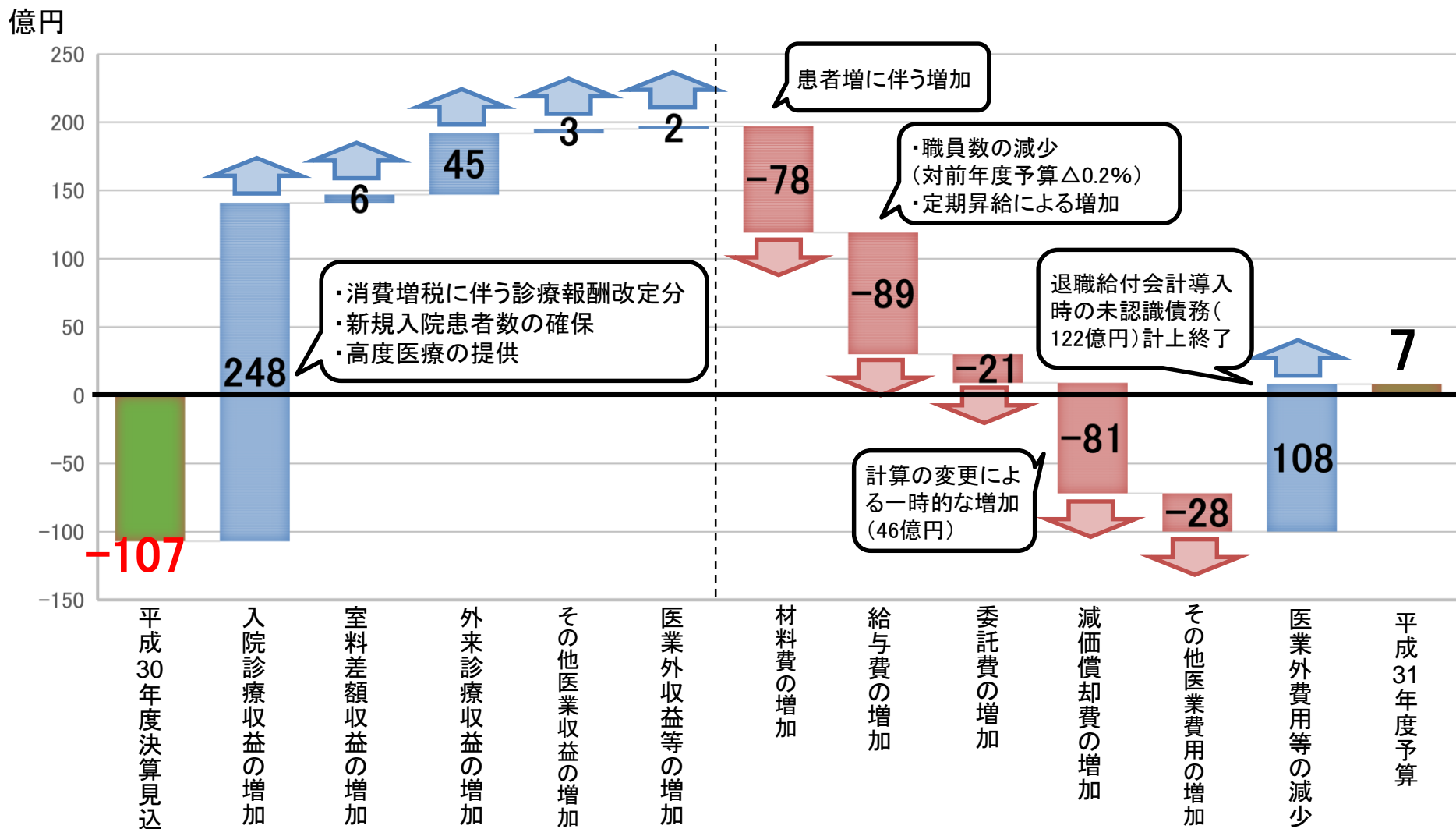
黒字: 50施設  
赤字: 39施設

診療報酬 △1.03%  
 本体 +0.49%  
 薬価等 △1.52%

診療報酬 △1.19%  
 本体 +0.55%  
 薬価等 △1.74%

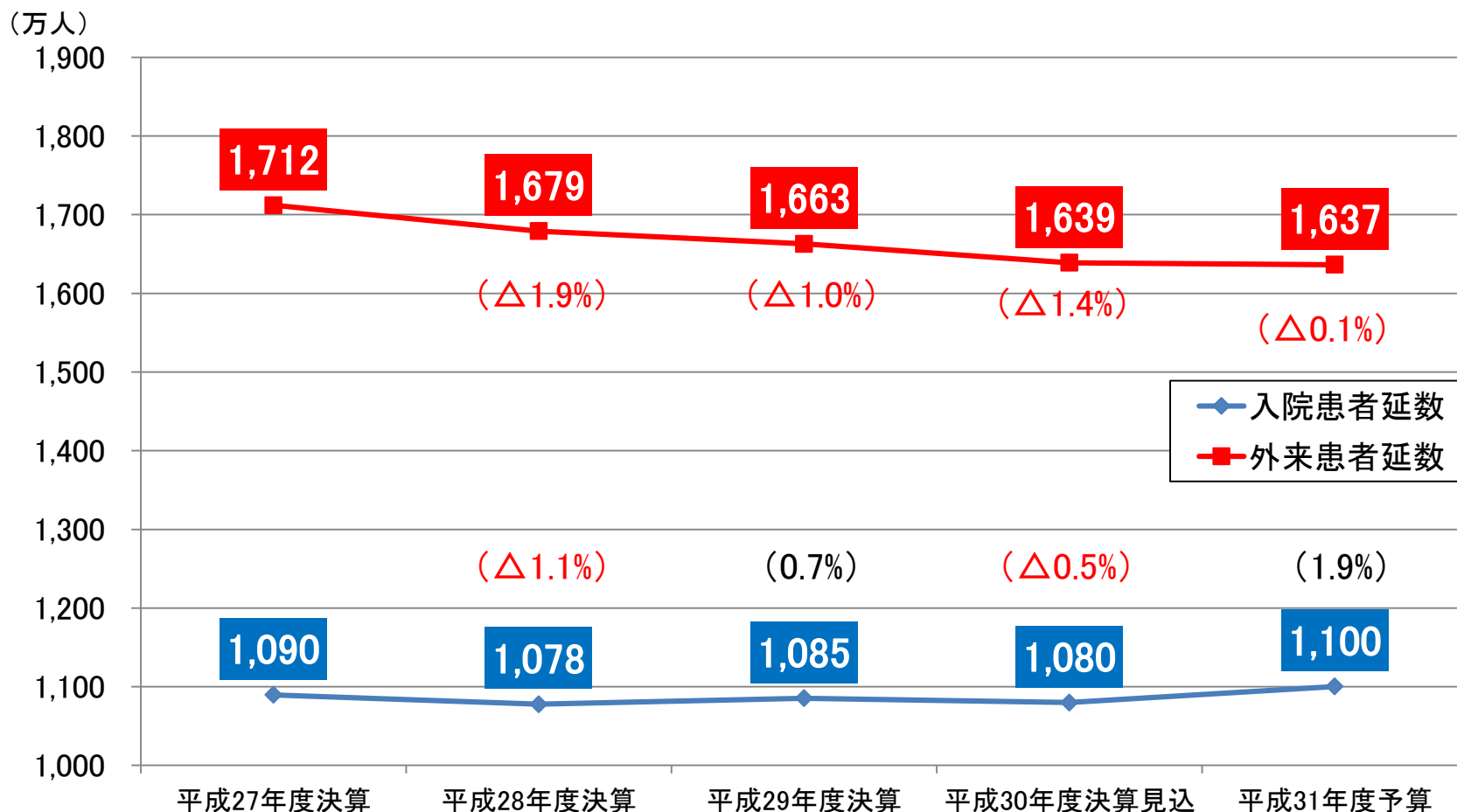
# 5. 経営状況の推移(主な経営指標)

## (1) 経常収支内訳の増減(対前年度決算見込み)



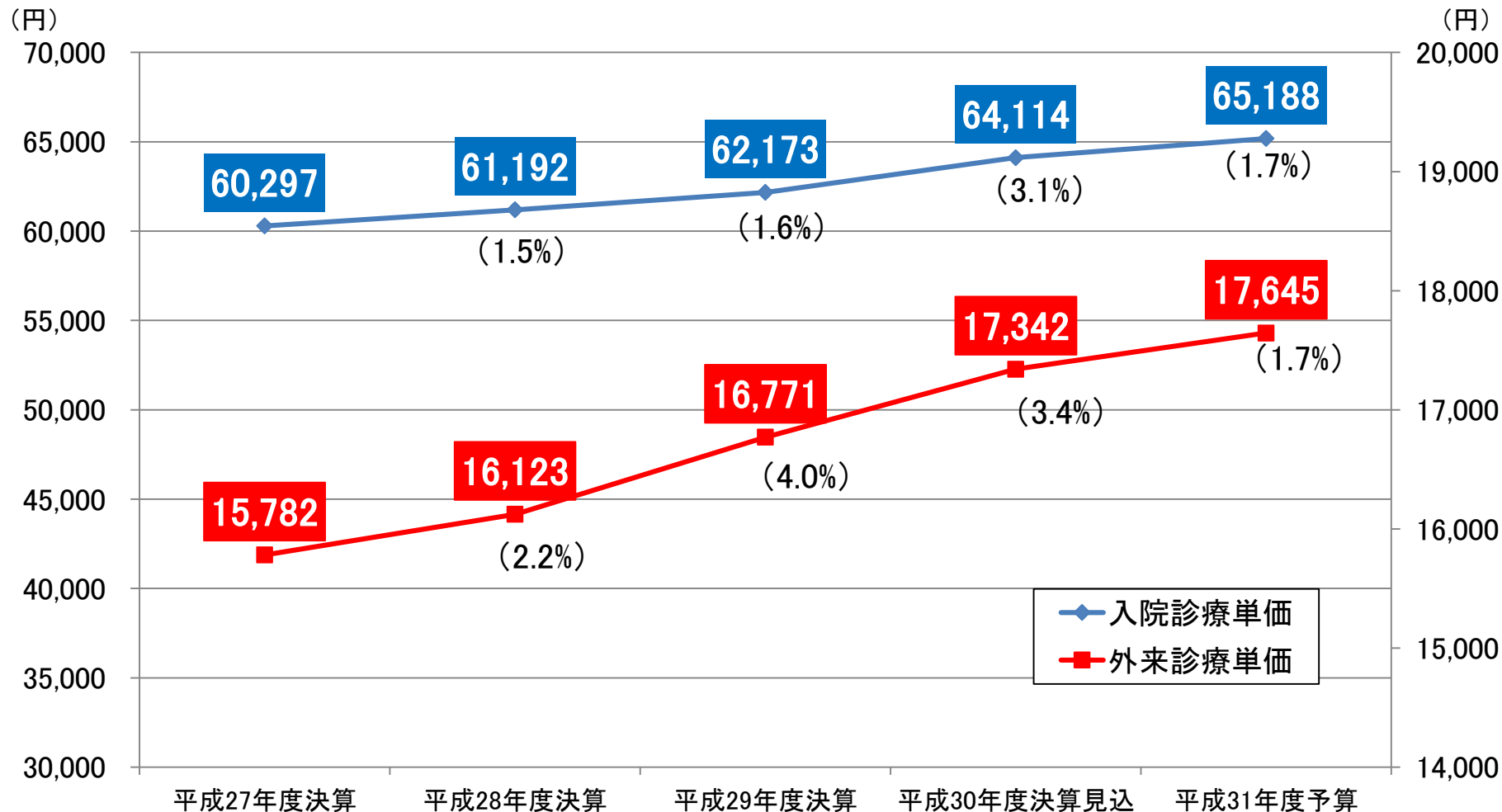
## (2) 患者数の推移

- 入院患者延数 11,002,648人【対30年度決算見込 203,824人増、1.9%増】
- 外来患者延数 16,365,166人【対30年度決算見込 23,929人減、0.1%減】



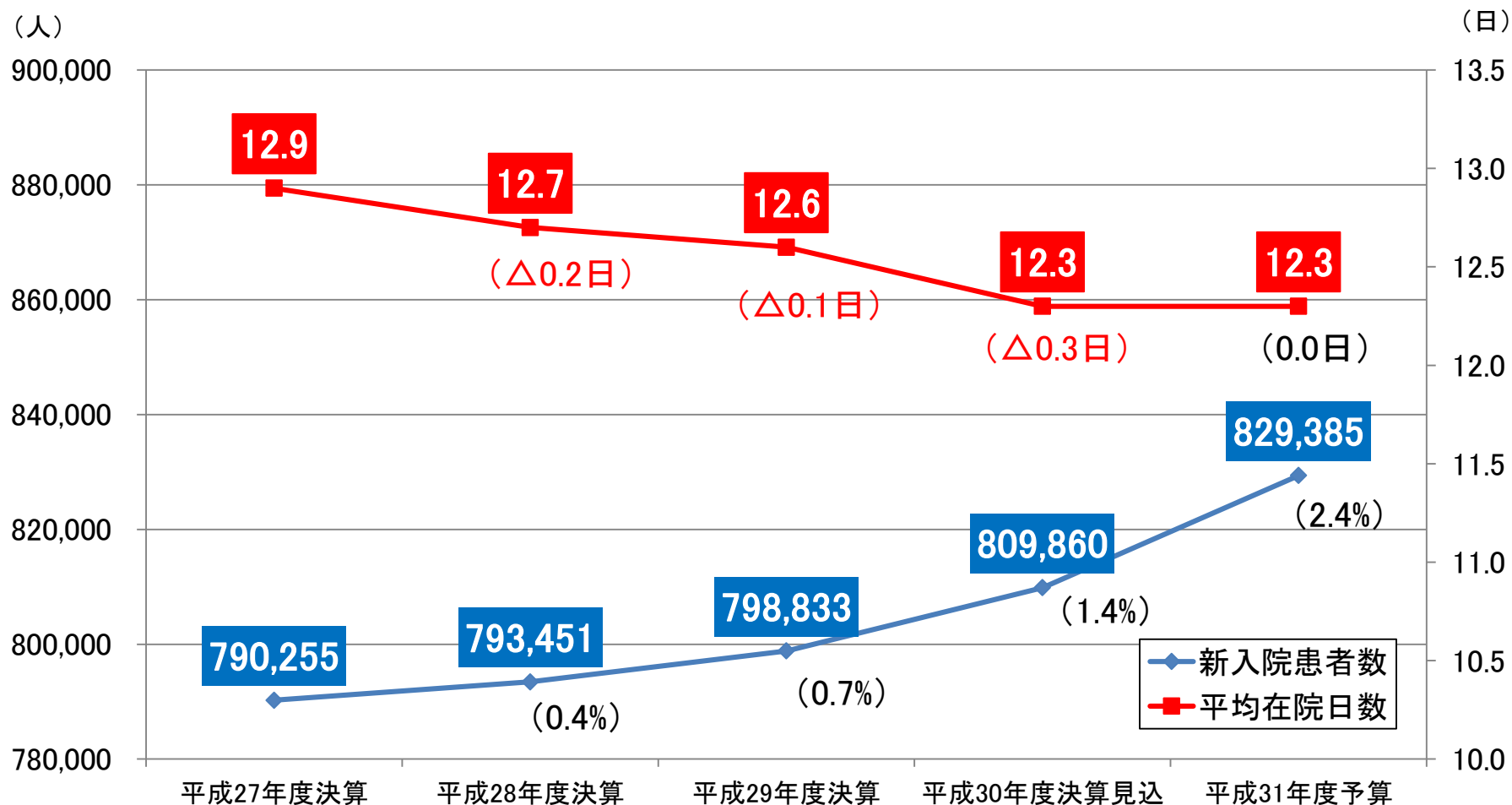
### (3) 診療単価の推移

- 入院診療単価 65,188円 【対30年度決算見込 1,074円増、1.7%増】
- 外来診療単価 17,645円 【対30年度決算見込 303円増、1.7%増】



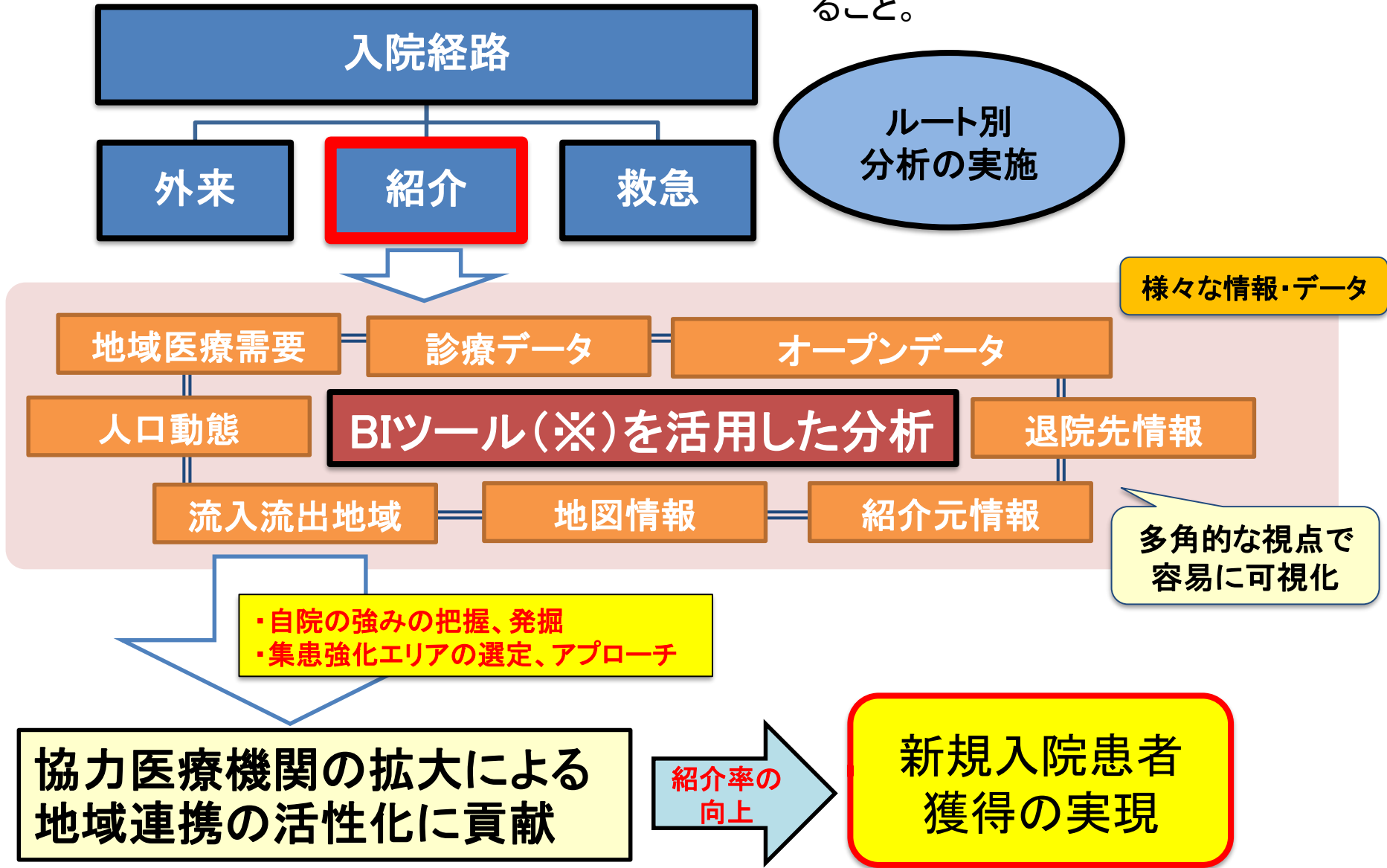
## (4) 新入院患者数と平均在院日数の推移

- 新入院患者数 829,385人【対30年度決算見込 19,525人増、2.4%増】
- 平均在院日数 12.3日【対30年度決算見込 増減なし】



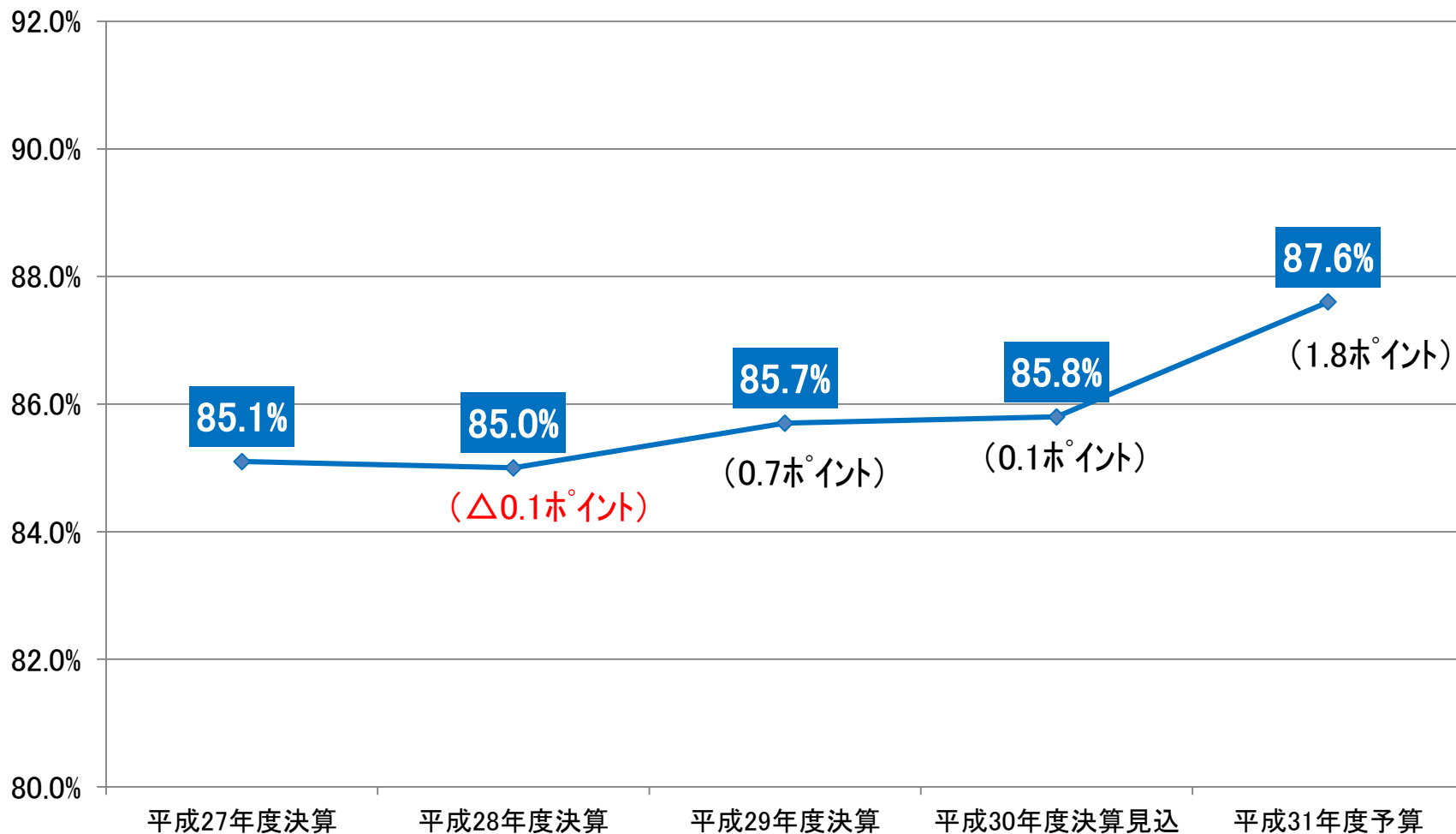
# 新規入院患者獲得の施策

※BIツールとは、社内データを活用して企業の意思決定を支援するツールであること。



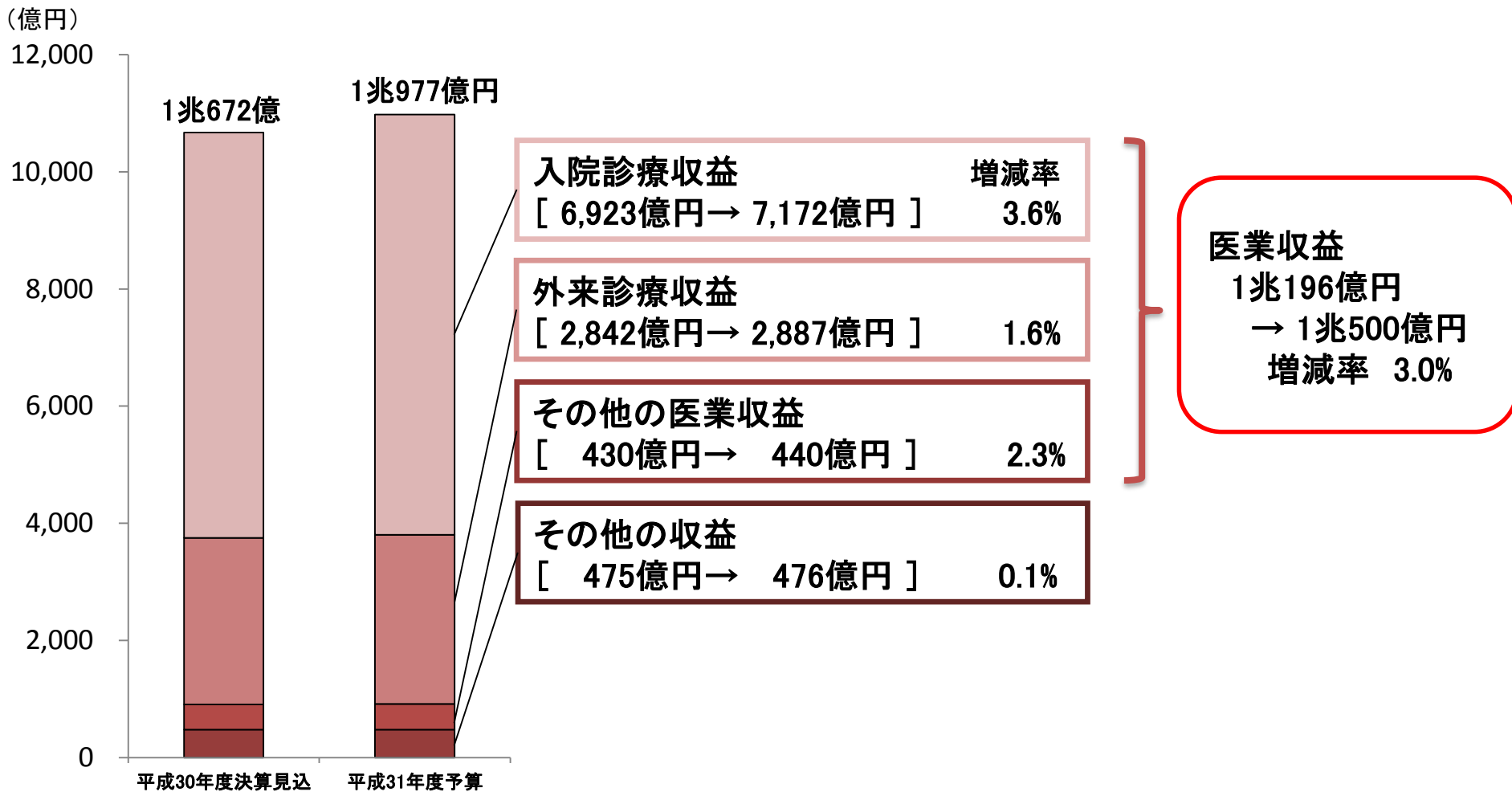
## (5) 病床稼働率の推移

○ 病床稼働率 87.6%【対30年度決算見込 1.8ポイント増】



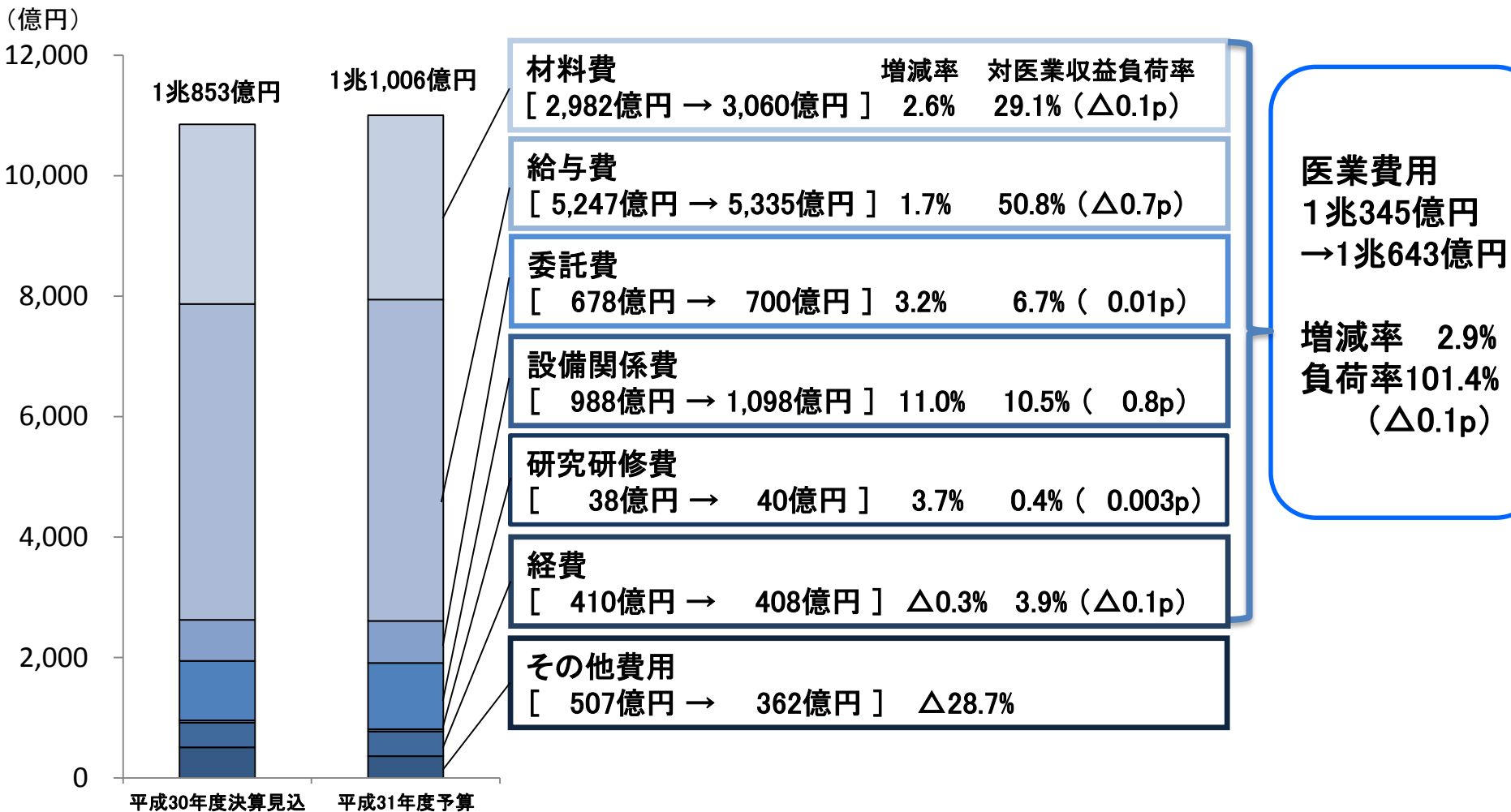


# 5. 医療施設特別会計 収益的収入のあらまし



	平成30年度決算見込	平成31年度予算	増減額	増減率
収益的収入合計	1兆672億円	→ 1兆977億円	304億円	2.9%

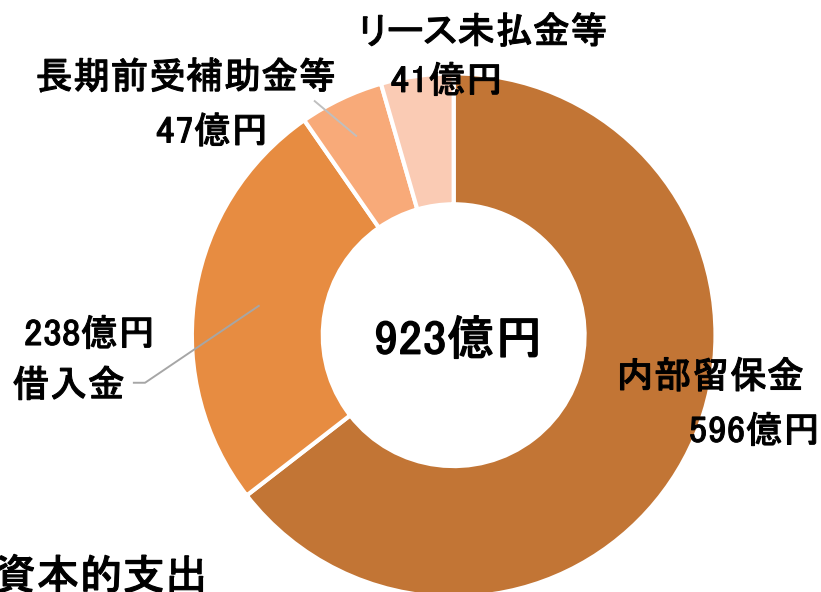
# 6. 医療施設特別会計 収益的支出のあらまし



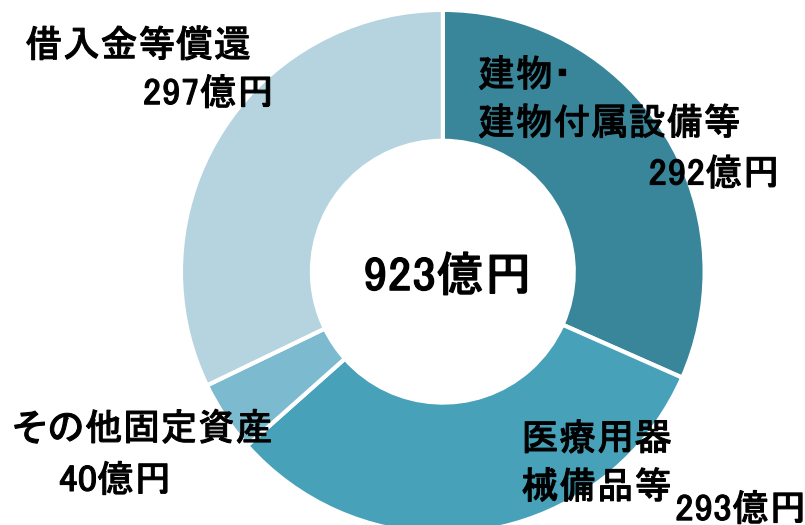
	平成30年度決算見込	平成31年度予算	増減額	増減率
収益的支出合計	1兆853億円	→ 1兆1,006億円	152億円	1.4%
収支差引額	△181億円	△29億円	151億円	

# 7. 医療施設特別会計 資本的収支のあらまし

## 【収入】



## 【支出】



### 資本的支出

固定資産(内訳)	金額	借入金等償還(内訳)	金額
建物・建物付属設備等	286億円	借入金償還	234億円
医療用器械備品等	293億円	リース未払金支払	52億円
車両等	1億円	その他負債返済	10億円
土地	5億円		
無形固定資産	39億円		

### 【主な建設実施施設】

武蔵野、葛飾、山口、  
高松、松山、長崎原爆

※億円未満切り捨て表示しているため、合計値と一致しないこと